

LD-CDY を Windows2000 へ導入する

■ まず始めに

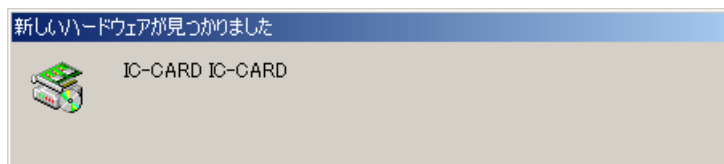
ここでは、本製品を Windows2000 へ導入する際の手順を説明しています。また、下記手順は、本製品の Windows2000 用ドライバを弊社ホームページよりダウンロードし、解凍されたドライバをフロッピーディスクにコピーした状態をドライバディスクと記述して説明しております。

■ Windows2000 への導入手順

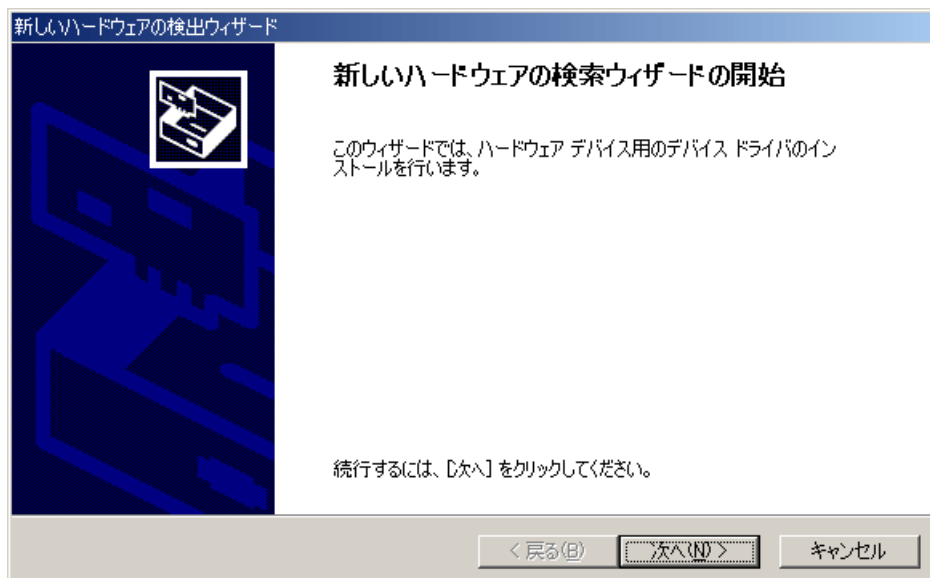
本製品付属のマニュアルを元に本製品をコンピュータ本体に取りつけてください。

コンピュータ本体の電源を入れて Windows2000 を起動し、Administrator 権限で Windows へログオンしてください。

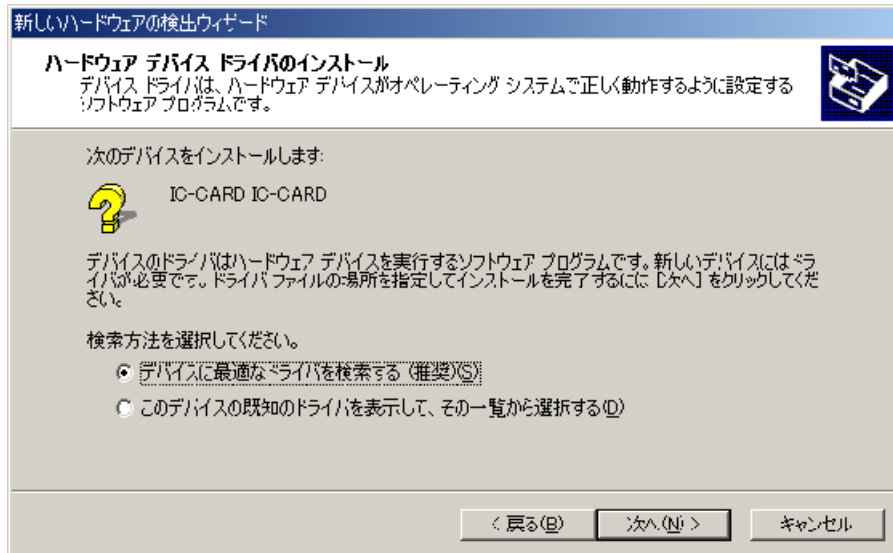
しばらくすると、下記画面のように[IC-CARD IC-CARD]と本製品を検出します。



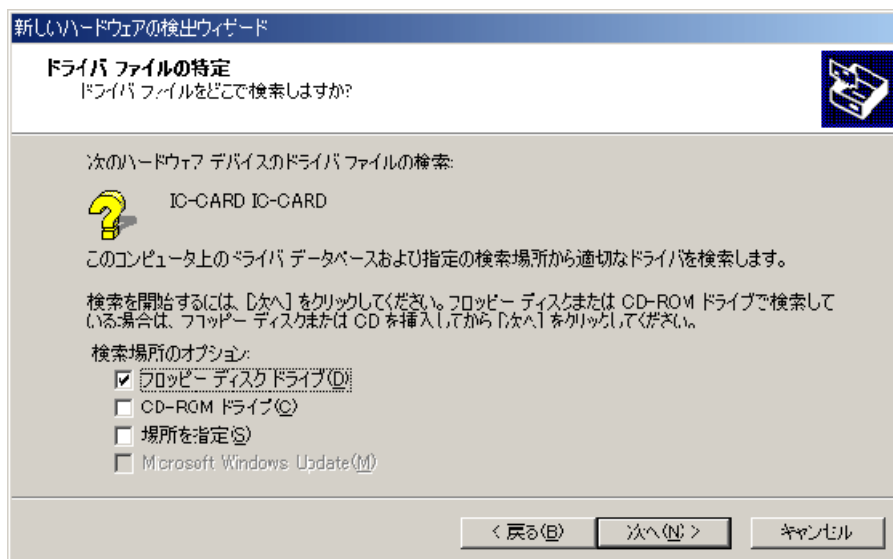
次に、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が開始されますので「次へ」ボタンをクリックします。



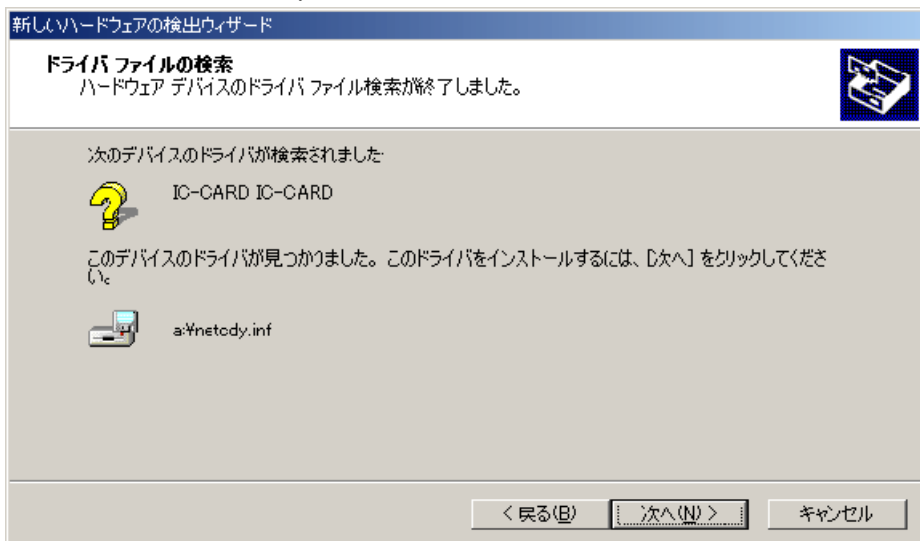
検索方法では、「デバイスに最適なドライバを検索する」にチェックし次へボタンをクリックします。



ドライバディスクをコンピュータのフロッピードライブに挿入し、検索場所オプションにフロッピードライブにチェックを入れ「次へ」ボタンをクリックします。



検索完了後、a:\netcdy.inf が検索されますので「次へ」ボタンをクリックしてください。



デジタル署名が見つかりませんでしたと表示されますが、「はい」ボタンをクリックし、インストールを続行してください。



ファイルのコピー後、「新しいハードウェアの検出ウィザード」の完了画面が表示されますので「完了」ボタンをクリックしてください。以上で導入は完了です。

